

県議会だより

2019年7月発行 ■TEL.029-301-1225
■編集・発行責任者：茨城県民フォーラム
■水戸市笠原町 978-6 茨城県議会県民フォーラム控室



まことあべ (那珂市) makoto-able@ly.ocn.ne.jp



たかのひろし (日立市) hiro-t@net11way.ne.jp



しだら しずこ (筑西市) eshidara@hotmail.co.jp



ふたかわ ひでとし (ひたちなか市) futakawa.hidetoshi@mocha.ocn.ne.jp



私たち茨城県民フォーラムは、
茨城県政・県議会に対することなど
さまざまな角度から皆様のご意見をお待ちしております。

茨城県民フォーラム 代表

さいとう ひであき

齋藤 英彰

✉ hmmr6504@biscuit.ocn.ne.jp

〒319-1221 日立市大みか町1-34-3 TEL 0294-52-4440

令和元年第2回定例県議会審議内容報告

第2回定例県議会が6月6日から19日間の日程で開催され、補正予算に関する議案として1件、条例その他の議案として18件、報告事項1件が提案され、24日の最終日に原案どおり可決されました。

知事提案説明

定例会の開会において、知事より議案などの説明と報告がありました。説明内容の一部を抜粋いたします。

- どのような社会変化にも対応できる「新しい茨城づくり」に向け全力で取り組む
- 医療体制の充実、県内各医療圏における再編統合も含めた地域医療の充実・強化
- 保健所の再編をはじめ、地域保健のサービス水準の確保・向上
- 性的マイノリティ理解推進のための取り組み
- 『G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合』における準備及び商談会の開催
- 台湾、ロシアの訪問での意見交換を基軸に、地域間におけるさらなる連携強化
- 国内外からの観光誘客を進め、稼げる観光地域づくりのための活動の推進
- 施設のさらなる魅力向上を図るため、実証実験などを踏まえた娯楽園の有料化を行う都市公園条例の改正案を提出
- 企業立地補助金や税制上の特例措置などを最大限活用し、積極的な企業誘致
- バス乗降時の顔認証によるキャッシュレス決済や自動運転の実証実験など、スマートシ

ティの構築に向けた取り組み

- ビジネスコーディネーターによる指導・助言、国・JAXA 等による情報提供を通じて、宇宙ビジネスの拠点形成
- 4月に設置した『外国人材支援センター』におけるセミナー開催や就職マッチングの実施による人材を確保する環境整備
- 『水害危険度マップ』をもとに、住民が避難について考える『マイマップ』等の作成を促進
- 中高一貫教育校10校の新設を公表、開校に向けての準備を促進
- 茨城国体・全国障害者スポーツ大会開催に向け、県内各地で様々な競技を実施し、普及・振興のさらなる強化
- 茨城カシマスタジアムをはじめ、東京オリンピック・パラリンピック大会開催の準備を着実に推進

条例その他

- ①茨城県行政組織条例等の一部を改正する条例
- ②茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ③茨城県県税条例等の一部を改正する条例
- ④取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査委員会条例を廃止する条例

- ⑤茨城県交通安全条例の一部を改正する条例
- ⑥大気汚染防止法に基づき排出基準を定める条例の一部を改正する条例
- ⑦茨城県興行場法施行条例の一部を改正する条例
- ⑧茨城県都市公園条例の一部を改正する条例
- ⑨茨城県鹿島臨海都市計画下水道条例の一部を改正する条例
- ⑩茨城県県立学校設置条例の一部を改正する条例
- ⑪茨城県警察関係手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ⑫水戸市の中核市指定に係る申出について
- ⑬取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査に関する事務の受託の廃止について
- ⑭法人に対する出資について
- ⑮県有財産の売却処分について（茨城中央工業団地（1期地区）事業用地）
- ⑯県有財産の売却処分について（茨城港常陸那珂港区建設機械製造用地）
- ⑰茨城県道路公社の有料道路事業の変更について
- ⑱千葉県道路公社の有料道路事業の変更について

報告事項

地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

常任委員会報告

第2回定例会で6月17日から18日に開催された常任委員会の質疑応答について、一部を抜粋してご報告いたします。



防災環境産業委員会

遠藤 実 委員

質問内容 外国人支援センター、自転車保険の加入に係る条例改正について

外国人材支援センターは、留学生の就職に関しても対応できるのか。また、留学生の県内での就職に関して登録支援機関はどのような役割か。長内労働政策課長／登録支援機関は特定技能外国人を対象にしている。外国人材支援センターは、特定技能外国人のマッチングがメインだが、様々な相談対応も行っており、留学生にも対応していく。自転車保険の加入に係る条例改正は地元でも関心が高くぜひ進めて欲しいが、事故を減少するためにどのように取り組むか。阿部生活文化課長／安全利用の推進を図るために、体験型の交通安全教室に重点的に取り組み、教育庁と連携して教育現場での啓発を進め、リーフレットを作成し安全利用を推進したい。



総務企画委員会

高安 博明 委員

質問内容 民間バス事業者の経営、県北振興チャレンジプランについて

国交省の全国データでは、民間バス事業者の7割が赤字で、バスの利用者は過去20年間で3割減、路線廃止も増加傾向にあるが、本県の状況はどうか。久保田交通政策課長／本県も同様の傾向にあり、平成14年以降の路線廃止は約350系統、1,700キロに及び、廃止分を市町村がコミュニティバスなどでカバーしている。利用者数は横ばいだが、最近は運転手の確保が大きな課題と聞いている。「県北振興チャレンジプラン」は、少し観光に特化し、在住者が地域に住んでよかったと思える取り組みが足りないように思えるが。安達県北振興局次長／昨年度から「県北地域活力創造プロジェクト事業」を実施し、市町の取り組みを側面から支援している。



営業戦略農林水産委員会

設楽 詠美子 委員

質問内容 次世代施設園芸コンソーシアム、「常陸の輝き」について

次世代施設園芸コンソーシアムに取り組む県内の農家の戸数について、またどのような基準で選定したか。梅谷産地振興課長／2015農林業センサスにおいて、ミニトマトを含むトマトは3,114戸、キュウリが2,817戸であり、施設園芸研究会に呼びかけし、導入希望のある意欲的な農家を選定した。トップブランド化に取り組んでいる「常陸の輝き」は、どのくらいの生産規模を目指すのか。また、生産拡大していく上での課題は。鴨川畜産課長／年度内に1万頭出荷を目指す。生産者は、種雄豚を導入し、専用飼料に切り替えて生産を始め、さらに出荷豚の肉質が基準を満たすことも必要であることから、出荷開始までに時間がかかることが課題である。



保健福祉医療委員会

二川 英俊 委員

質問内容 医師不足、保健所の再編について

医師確保に関する施策は継続性が重要だと考えるが、ドクタープール事業は3年間採用、派遣した後、どのように医師の勤務を維持していくのか。砂押医療人材課長／今回提出した補正予算案においての対策は短期的なものだが、同時に地域枠による医師の養成など、長期的な施策も実施しており、5年後ぐらいには義務内の医師数が300人を超える見込みである。保健所の再編によって、統合される保健所の代替組織となる支所は、どのような業務を行うのか。杉山厚生総務課長／健康づくりなど対人保健分野をはじめ、食品衛生など対物保健分野についても相談申請等に対応していくため、常設の支所とし、通常の行政機関と同じ開設日・時間とする。



文教警察委員会

齋藤 英彰 委員

質問内容 帰国・外国人児童の支援、あおり運転について

増加傾向にある帰国・外国人児童生徒の本県の現状と指導上の課題について伺う。岩田参事兼義務教育課長／昨年度の帰国・外国人児童生徒数は2,467人で、5年前に比べ777人増加。日本語指導教室のない小中学校では、支援員やボランティアを活用するなどして、個別の支援を行っているが、さらなる支援の充実が必要である。「あおり運転」の現状、またどのように取り組んでいるのか。関根交通総務課長／昨年中は、車間距離不保持違反131件と、いわゆる「あおり運転」に関係する違反合計で229件検挙している。県警航空隊、交通指導課、高速道路交通隊の3所属が連携し、ヘリコプターを活用した交通の指導取締りを行っている。

令和元年第2回定例会土木企業委員会審議状況

土木企業委員会に付託されました、第95号議案「茨城県都市公園条例の一部を改正する条例」、第96号議案「茨城県鹿島臨海都市計画下水道条例の一部を改正する条例」、第103号議案「県有財産の売却処分について」、第104号議案「茨城県道路公社の有料道路事業の変更について」、第105号議案「千葉県道路公社の有料道路事業の変更について」、報告第2号「地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について」のうち、別記1「平成30年度茨城県一般会計補正予算第4号」中の本委員会所管事項、別記4「損害賠償の額の決定について」審査の結果、各案件はいずれもその内容を適切なものと認め、全会一致をもって原案のとおり可決または承認すべきものと決定した次第であります。

次に、審査におきましては、水戸浄水場のメガソーラー導入の経緯と費用、地域振興事業における格納庫の利用促進、霞ヶ浦導水の完成による濁水への影響、茨城県企業公社と茨城県開発公社の合併における相乗効果、県有財産処分による地元雇用の創出、国道354号土浦バイパスの整備状況と今後の見通し、常磐道におけるスマートインターチェンジ設置の検討、生活道路における安全の確保、幹線道路の維持・補修、借楽園有料化に伴う魅力向上策、などが論議されました。